

# 武蔵野市の公共交通サービスと総合連携計画策定の進め方

策定調査

平成20(2008)年度  
武蔵野市地域公共交通の概況と問題点

## 公共交通の現況

- ・JR3駅(吉祥寺駅・三鷹駅・武蔵境駅)
- ・路線バス(4社、80路線以上)
- ・ムーバス(7路線9ルート)

## 市の交通サービスの検証

- ・ムーバスは年間290万人の利用者を開発
- ・ムーパーク(パーク&ムーバスライド)
- ・福祉移送(レモンキャブ、つながり)

→交通空白(不便)地域はおおむね解消

## 公共交通の問題点

- ・路線バスの路線・系統名、案内、乗場がバス事業者毎で異なり、わかりにくい、短距離利用の割高感など
- ・ムーバスの乗継利用、運行時間帯、ルート、バス停、案内、ICカード導入等
- ・客待ちタクシーによる交通渋滞(路線バス・ムーバスの定時性阻害)
- ・自転車交通問題(駅周辺の駐輪場不足、自転車事故、走行環境、等)
- ・JR中央線高架化後の交通体系、等

→複数の交通モードに関わる複合的な問題  
→課題・対応策の検討

## 地域公共交通総合連携計画の必要性

- ・武蔵野市市民交通計画がめざす「市民誰もが利用しやすい交通体系」の推進と新しい問題の顕在化など
- ・複数の交通施策や既存交通サービスなどが「連携」した改善の必要性。

平成21(2009)年度  
地域公共交通総合連携計画の策定

## 【公共交通サービスの基本方針の検討】

～ムーバスの第二ステージに向けて～

- ・市民誰もが利用しやすい交通体系の実現に向けた、公共交通(路線バス、ムーバス、タクシー等)のサービス水準と利便性向上の取組み方針

## ■市民アンケート調査結果(平成20年度)の分析

## ■路線バス利用者アンケート調査

## ■路線バスの行先・系統・案内・乗場等の把握

## ■バス事業者・ドライバーヒヤリング調査

## ■路線バスの運賃体系等先進事例調査

- ・ワンコイン、ゾーン制、共通フリーパス等
- ・需要開発、事業採算性、運営等の検討

## ■ICカード導入可能性検討調査

- ・国内外の事例の収集・整理・分析

## ■高齢者等の外出支援に向けたタクシーの活用調査

- ・タクシードライバー、事業者ヒヤリング調査
- ・タクシー利用者アンケート調査
- ・駅前タクシーの客待ち状況調査、等

## ■交通事業分科会による検討

## 【平成22年度に実施する施策の検討】

→連携計画策定→市民交通計画への提言

平成22(2010)年度以降  
実証運行・実証実験(総合事業)のイメージ

## 【事業の実施計画の策定】

(地域公共交通活性化・再生総合事業計画)

## 【実証運行・実証実験のイメージ】

### ■バス交通の情報提供による利用促進

- ・路線やバス停の統一(行先別の系統番号・乗場等)
- ・わかりやすい案内・情報(駅前バス案内、バスマップ、武蔵野市らしいデザインの実現等)

### ■武蔵野方式の公共交通サービス開発

- ・ムーバスの乗り継ぎ(一日券、バス停)、運行時間、ルート等
- ・バス交通の運行システム
- ・武蔵野版ICカード(ムーバス、駐輪場、商店街、一日券)等

### ■駅周辺の交通問題の解消

- ～徒歩・公共交通優先のまちづくり～
- ・サイクル(パーク)&バスライド(自転車・車からバス交通への転換)
- ・ムーパークを活用した、タクシーのショットガン方式

### ■きめ細かい公共交通サービスの開発

- ・誰でも気軽に利用できるタクシー・システム実証実験(配車方法・運賃・エリア等)

- ・JR中央線高架化に伴う交通の見直し
- ・近隣市区と連携した広域的な取組み
- ・フォローアップ調査(評価・検証、改善、見直し)